

2026年12月期 第1四半期決算業績報告

小林製薬株式会社

広報・総務本部 広報・IR部長 上之原 篤志

2026年5月8日

紅麴関連製品について

2024年の当社紅麴関連製品の事案におきまして、お客様やお取引先様をはじめ、当社に関係する様々な皆様に多大なるご心配、ご迷惑をお掛けしておりますことを、深くお詫び申し上げます。

当社といたしましては、健康被害にあわれたお客様と損害を受けられたお取引先様に対する謝罪と補償を引き続き何よりも優先し、誠実かつ適切に実行してまいります。

(2026年4月30日時点)

(人数は概数)

補償対応窓口へのお問い合わせをいただいた方	1,350名
補償申請書類を受付した方	900名
補償申請書類を確認中の方	30名
補償申請書類を確認済の方	870名
補償の対象となった方	510名
治療継続中の方 または 補償内容を協議中の方	170名
慰謝料等のお支払いが完了した方	340名

※死亡に関するお問い合わせについては、当社の調査において、現時点で当該製品の摂取によりお亡くなりになったことが明らかな症例は判明していません。

売上高

	Q1実績	対前期差 (対前期比)
連結	336億円	+11億円 (+3.2%)
国内事業	232億円	+5億円 (+2.3%)
国際事業	102億円	+5億円 (+5.1%)

営業利益

	Q1実績	対前期差 (対前期比)
連結	13億円	▲12億円 (▲46.7%)
国内事業	16億円	▲9億円 (▲33.7%)
国際事業	▲3億円	▲3億円 (-)

【売上高サマリー】

国内事業・国際事業ともに増収で、ほぼ想定通りの着地

『国内事業のハイライト』

- ・暖冬によるカイロの減収や、前期の感染症流行に伴う需要拡大が一巡した影響などにより、季節品が低調に推移。自社通販終了も減収要因に
- ・一方、2025年7月以降の広告再開効果が全体を力強く牽引し、これらのマイナス影響を吸収して国内事業トータルでは増収を確保

『国際事業のハイライト』

- ・米国は、製造委託先における一時的な生産遅延の影響により減収
- ・東南アジアは、期ズレ影響で前年弱かったフィリピンでの反動増と、感染症流行の低迷で苦戦したタイでの減収が相殺され、全体では微減収
- ・一方、前期末で底を打った中国大陸が回復基調に入り全体を牽引したことで、国際事業トータルでは増収を確保

【営業利益サマリー】

- ・国内は前期Q1の広告自粛（2025年7月より再開）の反動で広告費が大幅増となり減益
- ・連結でも減益となったものの、想定に対しては約5億円上振れて着地

紅麹関連製品に関する特別損失（約3億円）を計上したものの、保有有価証券の売却益などによりカバー

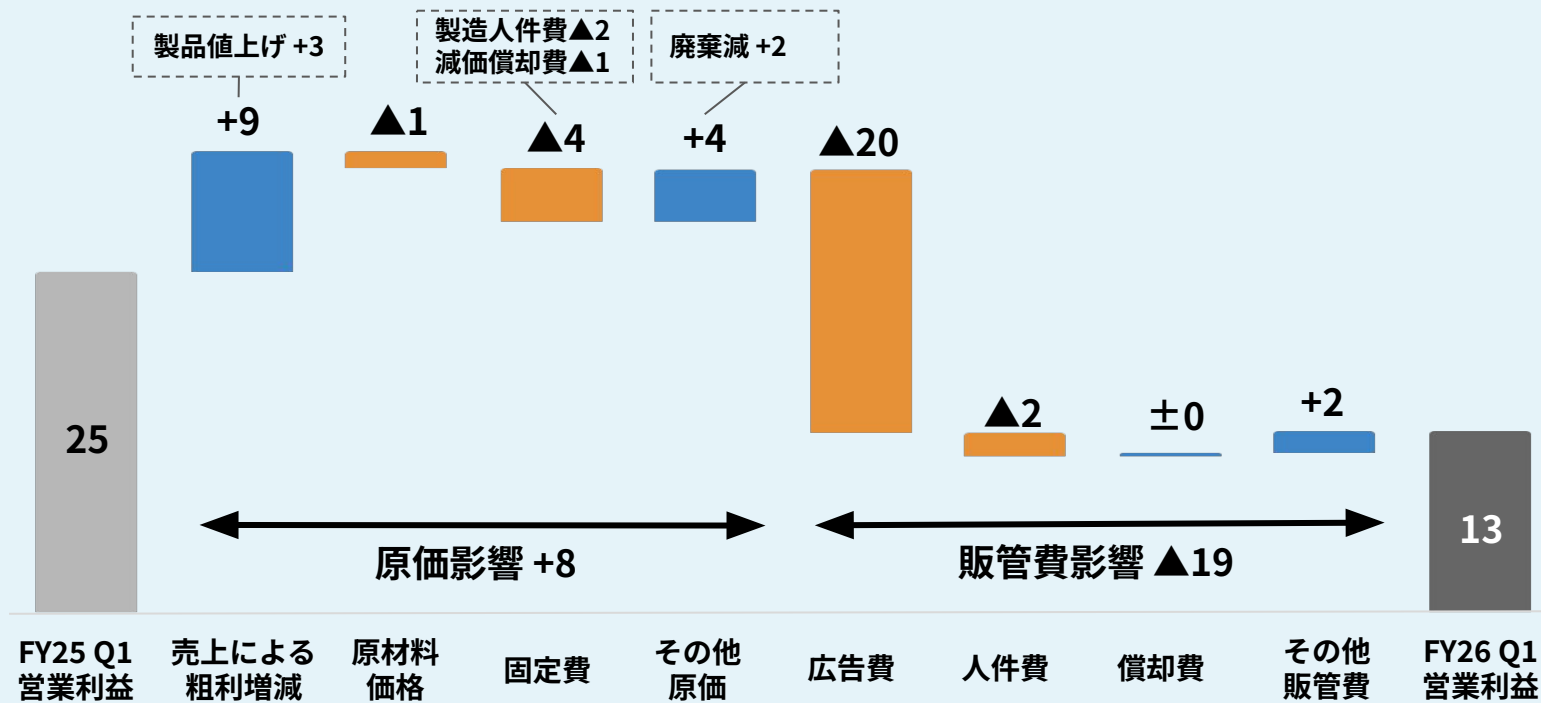
(単位：億円)	Q1 (1-3月)			
	金額		対前期	利益率
	FY25	FY26		
売上高	326	336	+3.2%	—
売上総利益	166	174	+4.5%	51.8%
営業利益	25	13	▲46.7%	4.0%
経常利益	24	16	▲30.4%	5.0%
当期純利益	16	10	▲36.2%	3.1%
EBITDA※	47	36	▲23.6%	10.7%

※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

国内の広告を本格再開した影響により減益

利益増減要因

単位：億円 (+は利益増、▲は利益減)



前期末をもって自社サイトでの販売を終了した通販の実績は、今期よりヘルスケアに統合。旧通販品を除く国内売上高は+5.5%の増収も、営業利益は広告再開等により減益

※カッコ内は旧通販品を除く数字

(単位：億円)		Q1 (1-3月)		
		金額		対前期
		FY25	FY26	
売上高	ヘルスケア	135 (127)	137 (136)	+1.8% (+7.3%)
	日用品	86	89	+4.2%
	カイロ	6	5	▲13.5%
	合計	227 (220)	232 (232)	+2.3% (+5.5%)
営業利益計		25	16	▲33.7%
率		11.2%	7.2%	—

免税制度改定に伴うデータ取得の制約を見据え、「セルイン（出荷）ベース」の算出方法へ今期より変更。

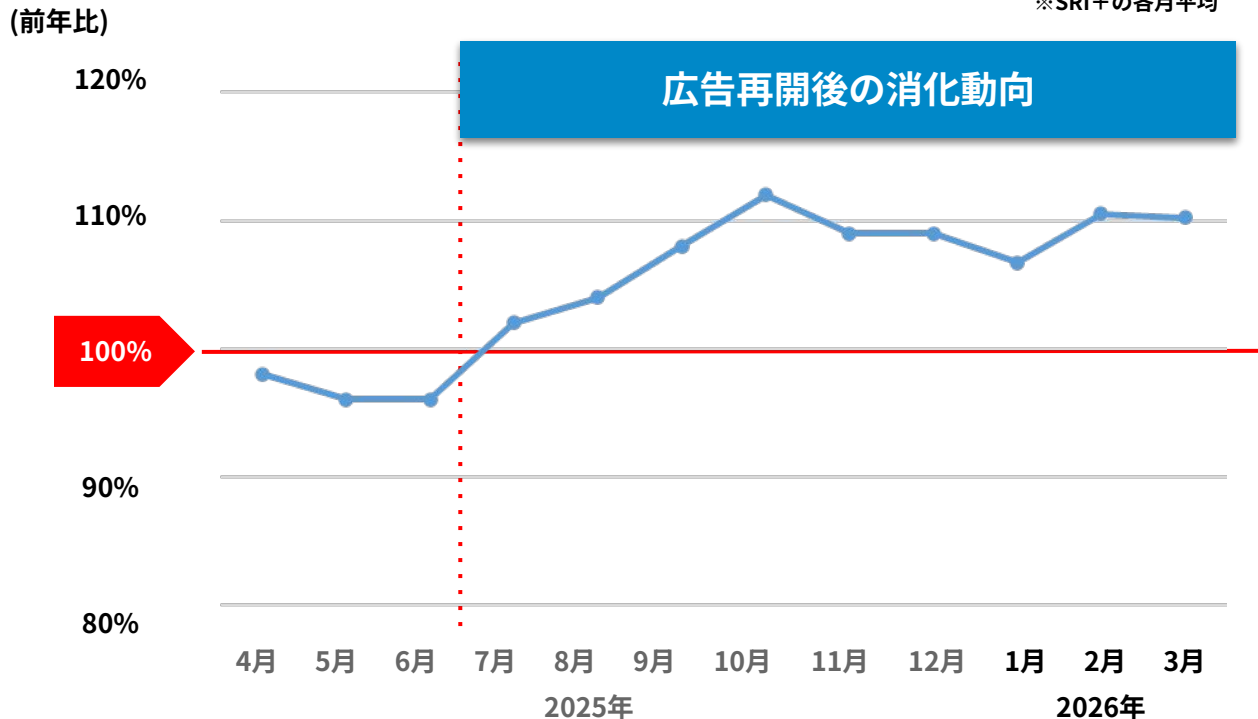
どちらの算出方法でもトレンドに大きな違いはなく、足元Q1は前年並で推移

	算出方法	算出モデルの特性	通期	Q1	
			2025年	2025年	2026年
従来方式	<p><u>セルアウトベース</u></p> <p>一部量販店の免税POS実績（免税比率）を他量販店にも一律適用した拡大推計</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 制度改定で今後のデータ取得が困難に ● インバウンド需要が比較的多い量販店の免税比率を他量販店にも一律適用していたため、実態より高めに出ている可能性があった 	115億円	25億円	27億円
新方式	<p><u>セルインベース</u></p> <p>訪日客購買の特徴が見られる店舗を「インバウンド店舗」と指定し、出荷実績を集計</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 自社データに基づくため、外部制度の変更に左右されず、実績管理が可能 ※実際は、非インバウンド店舗でも訪日客購買が発生するなど、実態との乖離が一定生じる 	48億円	11億円	12億円

2025年7月の広告再開以降、ヘルスケア関連製品群を中心に回復傾向が継続

季節品を除いたヘルスケア関連製品群における
TV広告再開製品の消化（セルアウト）の状況※

※SRI+の毎月平均



<好調な製品の一例>

【アイボン】



【命の母】



【ケシミン】



【ブレスケア】



増収減益。米国と東南アジアの減収を、中国大陸はじめ他のエリアがカバー。
為替影響（売上高+5億円、営業利益+0.4億円）

(単位：億円)		Q1 (1-3月)			
		金額		対前期	
		FY25	FY26	為替込	為替除
売上高	米国	48	44	▲9.0%	▲11.4%
	中国大陸	13	19	+40.2%	+30.9%
	香港地域	5	7	+18.1%	+15.3%
	東南アジア	20	20	▲1.3%	▲9.1%
	その他	8	11	+33.8%	+21.8%
	国際計	97	102	+5.1%	▲0.3%
営業利益計		0	▲3	—	—
率		—	—	—	—

米国

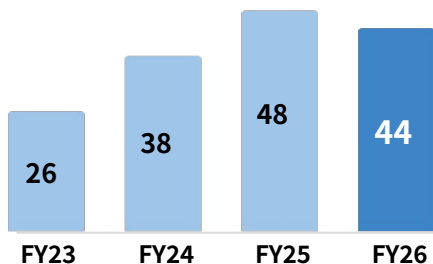
Q1で対前年▲4億円

【主なトピック】

- 製造委託先での一時的な生産遅延により、ヘルスケア製品が減収

売上高推移（Q1）

（単位：億円）



中国大陸

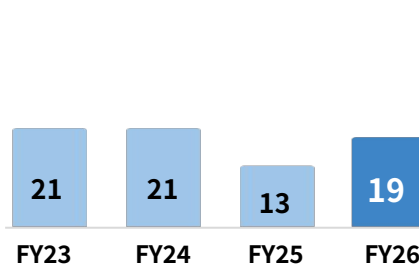
Q1で対前年+6億円

【主なトピック】

- 前期の在庫調整や代理店変更等の影響が一巡し、熱さまシートやアンメルツの出荷が順調に回復

売上高推移（Q1）

（単位：億円）



東南アジア

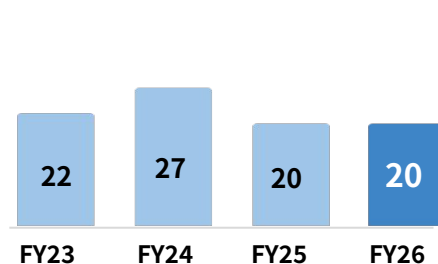
Q1で対前年▲0.2億円

【主なトピック】

- 前期の出荷タイミングのズレに伴う反動等により、フィリピンが好調に推移
- タイにおけるインフルエンザ流行の弱含みの影響を他国がカバーしたものの、地域全体では微減収

売上高推移（Q1）

（単位：億円）



現時点で確定済みの事象に基づき影響額を試算（未確定の将来リスクは含まず）。引き続き状況を注視するとともに、対策を講じることで影響の最小化を図る

<p>サプライチェーン 影響</p>	<p>以下の原材料を中心に「調達遅れ・制限」「値上げ要請」が発生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・容器包装資材（ボトル、フィルム等） ・石油化学系原料（アルコール類、界面活性剤等） <p>※多様なサプライヤーから調達しているため、実影響は一部製品に限定</p>
<p>事業影響</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定番品の出荷コントロール（欠品抑制）や一部企画品中止による販売機会損失 ・原材料の値上げ要請に伴うコストアップ
<p>影響額 (期初計画からの差異)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・売上高：▲5億円（主にQ2） ・営業利益：▲15億円（主に下期） <p>※現時点で確定済みの事象のみ反映（将来の不透明なリスクは含まず）</p> <p>※各種対応策による利益改善効果は含まない前提</p>

対応策

- **代替調達の推進** 代替原料への切り替え、新規サプライヤー開拓による調達ルート多線化
- **リソース配分** 主力品へ原材料を優先配分し、お客様への安定供給と流通への影響を最小化
- **経費コントロール** 供給状況に応じた広告販促費の調整や全社的な経費コントロールを実施
- **製品価格の適正化** 自助努力を最大限継続した上で、製品値上げを機動的に実施

通期業績予想の修正はなし

(単位：億円)	2025年12月期 実績	2026年12月期 業績予想		
	金額	金額	対前期	利益率
売上高	1,657	1,730	+4.4%	—
営業利益	149	125	▲16.2%	7.2%
経常利益	169	130	▲23.5%	7.5%
当期純利益	36	100	+173.5%	5.8%
EBITDA ※1	236	220	▲6.9%	12.7%
EPS	49.19	134.52	+173.5%	—
ROE	1.7%	4.8%	—	—
配当	104円 (中間44円、期末60円)	106円 (中間45円、期末61円)	—	—
国内売上高	1,180	1,230	+4.2%	—
国際売上高 ※2	469	494	+5.1%	—

※1 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額 ※2 為替レート：148円/米ドル、21.0円/中国元

あつたら
いいな
をカタチにする



<注意事項>

この資料に記載されている当社の現在の業績、計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

従って、実際の業績は様々な要因の変化により記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

参考資料

(単位：億円)	FY25 Q1 (1-3月)	FY26 Q1 (1-3月)	
	金額	金額	対前期
売上高	326	336	+3.2%
売上総利益	166	174	+4.5%
率	51.2%	51.8%	—
営業利益	25	13	▲46.7%
率	7.8%	4.0%	—
経常利益	24	16	▲30.4%
率	7.4%	5.0%	—
当期純利益	16	10	▲36.2%
率	5.0%	3.1%	—

(単位：億円)	FY25 Q1 (1-3月)	FY26 Q1 (1-3月)	
	金額	金額	対前期
広告宣伝費	10	30	+186.2%
率	3.2%	8.9%	—
販売促進費	7	7	+1.5%
率	2.2%	2.2%	—

(単位：億円)	FY25 3月末	FY25 6月末	FY25 9月末	FY25 12月末	FY26 3月末
流動資産	1,323	1,359	1,320	1,488	1,275
現金及び預金	524	562	452	623	567
受取手形及び売掛金	326	329	403	521	334
有価証券	148	133	126	83	83
たな卸資産	273	306	306	227	264
固定資産	1,194	1,247	1,294	1,265	1,272
有形固定資産	676	734	746	673	683
無形固定資産	190	178	176	174	169
投資その他の資産	327	334	370	417	420
資産合計	2,517	2,607	2,614	2,753	2,548

(単位：億円)	FY25 3月末	FY25 6月末	FY25 9月末	FY25 12月末	FY26 3月末
流動負債	396	465	423	601	419
支払手形及び買掛金	90	91	85	84	76
未払金	96	157	139	309	161
固定負債	50	59	70	41	40
純資産合計	2,070	2,082	2,120	2,110	2,089
資本剰余金	5	5	5	5	5
利益剰余金	2,054	2,070	2,073	2,042	2,008
自己株式	▲247	▲247	▲247	▲247	▲247
負債純資産合計	2,517	2,607	2,614	2,753	2,548

(単位：円)	FY25 (1-3月)	FY26 (1-3月)	FY26 見込み (1-12月)
米ドル	152.6	156.8	148.0
中国元	20.9	23.0	21.0

(単位：億円)	FY25 Q1 (1-3月)	FY26 Q1 (1-3月)	
	金額	金額	対前期
売上高	227	232	+2.3%
売上総利益	111	119	+7.1%
率	49.1%	51.4%	—
営業利益	25	16	▲33.7%
率	11.2%	7.2%	—
広告宣伝費	2	19	+816.3%
率	0.9%	8.2%	—
販売促進費	2	2	▲2.5%
率	1.2%	1.2%	—

(単位：億円)	FY25 Q1 (1-3月)	FY26 Q1 (1-3月)	
	金額	金額	対前期
ヘルスケア	135	137	+1.8%
医薬品	68	72	+5.9%
食品	11	12	+11.2%
オーラルケア	34	37	+10.4%
スキンケア	13	13	+2.9%
旧通販品	7	0.6	▲92.0%
日用品	86	89	+4.2%
衛生雑貨品	22	21	▲5.0%
芳香消臭剤	54	58	+7.3%
家庭用品	8	9	+9.4%
カイロ	6	5	▲13.5%

(単位：億円)	FY25 Q1 (1-3月)	FY26 Q1 (1-3月)	
	金額	金額	対前期
売上高	97	102	+5.1%
売上総利益	54	53	▲0.5%
率	55.9%	52.9%	—
営業利益	0	▲3	—
率	—	—	—
広告宣伝費	8	10	+31.6%
率	8.5%	10.7%	—
販売促進費	4	4	+3.3%
率	4.6%	4.5%	—

(単位：億円)	FY25 Q1 (1-3月)	FY26 Q1 (1-3月)		
	金額	金額	対前期	対前期 (為替除)
米国	48.3	44.0	▲9.0%	▲11.4%
中国	19.9	26.6	+33.6%	+26.2%
中国大陸	13.9	19.5	+40.2%	+30.9%
香港地域	5.9	7.0	+18.1%	+15.3%
東南アジア	20.3	20.1	▲1.3%	▲9.1%
シンガポール	1.1	1.7	+55.4%	+43.0%
マレーシア	5.8	5.6	▲4.3%	▲17.0%
タイ	4.8	3.6	▲25.8%	▲32.8%
インドネシア	3.9	3.6	▲8.2%	▲7.2%
フィリピン	2.4	3.6	+51.3%	+50.1%
台湾地域	2.1	1.8	▲11.7%	▲17.4%
その他	8.3	11.2	+33.8%	+21.8%
英国	5.8	6.9	+18.3%	+7.4%
豪州	2.2	3.0	+39.4%	+22.4%

(単位：億円)	FY25 Q1 (1-3月)	FY26 Q1 (1-3月)		
	金額	金額	対前期	対前期 (為替除)
米国	48.3	44.0	▲9.0%	▲11.4%
カイロ	21.3	21.0	▲1.6%	▲4.2%
医薬品	15.9	15.0	▲6.0%	▲8.6%
その他	11.0	8.0	▲27.5%	▲29.5%
中国大陸	13.9	19.5	+40.2%	+30.9%
カイロ	3.5	5.6	+59.6%	+47.5%
熱さまシート	4.9	6.3	+27.7%	+18.1%
その他	5.4	7.6	+39.1%	+28.6%
東南アジア	20.3	20.1	▲1.3%	▲7.7%
医薬品	5.6	4.3	▲21.6%	▲30.0%
熱さまシート	11.8	12.3	+4.0%	▲0.6%
その他	2.9	3.4	+16.9%	+6.0%